

第4回協議会（勉強会）の概要について

1 日時
平成25年8月8日（木）15:30～16:45

2 出席者
松村佳子委員
花山院弘匡委員長職務代理
佐藤進委員
森本哲次委員
藤井宣夫委員
富岡將人教育長

3 テーマ
「教育再生実行会議での議論について」

4 協議内容
事務局が、教育再生実行会議の「これからの大学教育等の在り方について（第三次提言）」において、国際的に活躍できる人材育成には、初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育の充実が必要であるとして、小学校での英語学習の抜本的拡充、中学校における英語による授業の実施等を検討するとしていると説明した。また、TOEFLの国別ランキングや中・高生の英検取得状況から見た我が国の英語力の現状や、現在の小学校における外国語教育の状況、県内の教育課程特例校における低学年からの英語教育の取組についても報告した。

報告を受け、委員から、提言を具体化するためには、教育課程の編成、指導法の確立及び教員の指導技術の向上が不可欠で、慎重に時間をかけて教育体制の整備を行う必要があるとの意見が出た。

英語教育を改善するためには、「話す力」を評価する必要性があるという委員からの意見に対し、事務局からは、現在、県内の研究指定校で評価方法を実践研究していることの説明があった。

また、英語は、日本が国際舞台で意思疎通を行うのに有効な手段ではあるが、手段だけではなく伝える中身が重要であるという意見や、日本の成長戦略として、イノベーションの分野で活躍できる人材を育成することの方が大切ではないかとの意見も出た。

本県の英語教育の取組の方向性としては、日本や奈良の伝統文化を英語で説明する資料を小中学校用に作成する等、奈良TIMEの流れを踏まえた本県らしい取組を行い、英語で日本や奈良のことを語ることができる子どもたちを育成することが大切であるということで共通理解した。

次回は9月6日（金）の予定で、特別支援教育について議論を深めることにする。